

第 5 8 回 鹿 山 会 通 常 総 会 次 第

平成 20 年 7 月 26 日 (土)

PM3 : 00 開 会

ウイシュトンホテル・ユーカリ

1 . 開 会 の 事 ば

2 . 黙 とう

3 . 鹿 山 会 会 長 挨 拶

4 . 母 校 校 長 挨 拶

5 . 叙 勲 ・ 褒 章 受 賞 者 の 顕 彰

6 . 議 事

第 1 号 議 案	平成 19 年 度 事 業 報 告 に つ い て
第 2 号 議 案	平成 19 年 度 収 支 決 算 報 告 に つ い て
第 3 号 議 案	平成 20 年 度 事 業 計 画 (案) に つ い て
第 4 号 議 案	平成 20 年 度 予 算 (案) に つ い て
第 5 号 議 案	役 員 改 選 に つ い て
第 6 号 議 案	そ の 他

7 . 連 絡 事 項

8 . 閉 会 の 事 ば

PM4 : 00

ミニ講演会 「 記念館 100 周年 を 迎 える に あ た っ て 」

「 堀 田 正 睦 ・ 正 倫 と 記 念 館 」 講 師 : 金 田 幸 夫 氏 (昭 60 年 卒) 現 佐 倉 高 教 諭

「 修 理 保 存 に 向 け て の 県 政 雑 感 」 講 師 : 鈴 木 忠 治 氏 (昭 39 年 卒)

元 千 葉 県 土 木 部 長

PM4 : 45

懇 親 会

叙勲・褒章者御芳名録

平成19年 秋の叙勲

旭日重光章 江口 一雄 様 (〒276-0028 八千代市村上 4826)
(議案審議功労) 高 8 回 (昭 31) 卒

瑞宝双光章 桜井 秋男 様 (〒275-0011 習志野市大久保 1-18-10)
(鉄道業務功労) 高 15 回 (昭 38) 卒

瑞宝单光章 桜井 肇 様 (〒285-0011 佐倉市山崎 500-1)
(鉄道業務功労) 高 12 回 (昭 35) 卒

平成20年 春の叙勲

瑞宝单光章 福山 保雄 様 (〒285-0861 佐倉市臼井田 841-4)
(鉄道業務功労) 高 17 回 (昭 40) 卒

瑞宝单光章 高津 直利 様 (〒145-0063 東京都大田区南千束 2-7-2)
(危険業務従事者) 高 3 回 (昭 26) 卒

第 1 号 議 案

平成 19 年度 鹿 山 会 事 業 報 告

1 . 総 括

平成 19 年度の各種支援事業は、オランダ研修助成等計画通り遂行され、在校生の育英及び奨励に役立てることができました。組織面では、年会費制度に取り組む初年度でありましたが、特別寄付金を事業資金として、会員の皆様に制度新設のお知らせと会費納入をお願いする文書を発信しましたところ、多くの皆様にご理解とご協力をいただき、年会費制度が無事にスタートすることができました。今後は、資金活用の細則や徴収方法等の細部を検討し、本制度の定着を図ってまいりたいと考えております。また、国の有形登録文化財である記念館の修理・保存に向けての活動は、学校側と協力し、引き続き県に要望してまいります。鹿山文庫の修理・普及事業につきましては、概ね当初の目的を達成したとの認識に立ち、今後の鹿山文庫の会や、作業の進め方について、改めて検討してまいります。第二回鹿山会連絡協議会を開催の結果、新たな会の参加もあり、充実した連絡網、協力体制の会への進展を期待致します。

2 . 生徒への育英及び奨励

(1) 新入生への校章贈呈

(322 名) . . . (入学式終了後実施 : 鈴木博会長出席)

(2) 第 60 回卒業生に記念品贈呈

(319 名) . . . (木皿木元副会長出席)

(3) 競技会等への参加助成

- ・女子ソフトテニス部 関東高等学校ソフトテニス選手権大会
(個人の部・山本祐子・布施智子ペア)
- ・吹奏楽部 全国高等学校総合文化祭
(文化連盟賞受賞)
- ・カヌー部 関東高等学校選抜カヌー選手権大会
(男子ポロの部 優勝)
(フラットウォーター・レイジング・ヤックハ°ア 500m
黒川万莉子・風早智恵 8 位入賞)
- ・レスリング部 関東高等学校選抜レスリング選手権大会
(60 k g 級・平藤大智 ベスト 16)
- ・ラグビー部 関東高等学校ラグビー都県対抗戦
(県代表・澤根慶樹・鈴木正成)

第 2 号 議 案

平 成 19 年 度 鹿 山 会 収 支 決 算 報 告 書

別掲載資料をご参照ください

財 産 目 録

平成 20 年 3 月 31 日

(単 位 円)

勘定科目	金融機関		金 額
流動資産			
普通預金	千葉銀行 佐倉支店	一般会計	1,694,867
	郵貯銀行・佐倉店	年会費	3,949,660
	千葉銀行 佐倉支店	基本金	6,213,844
	千葉銀行 佐倉支店	鹿山文庫の会	5,597,963
	郵貯銀行・佐倉店	記念館関係	228,479
	"	寄付金会計残金	30,368
合 計			17,715,181

監 査 報 告

鹿山会会則第 7 条の規定により、本会会長から提出された平成 19 年度事業報告書並びに同年度収支決算書について監査を行った結果、当該年度中の運営は適正であり、会計は正確に処理され、報告書のとおりであることを確認いたしました。

よって、ここにご報告致します。

平成 20 年 6 月 11 日

監 査 篠 丸 頼 之

立 崎 寛

第 3 号 議案

平成 20 年度 鹿山会 事業計画 (案)

1 . 方針

今年度は、年会費制度新設により、予算化することができた財源を生かし、本会の基本的目的である「母校生徒の育英及び部活動を奨励し生徒の健全育成に寄与する」事業の充実とともに、会員の親睦と組織の連携強化が図れるよう運営体制を整備してまいります。特に、年会費制度については、その徴収方法、運用等についての細部が規定化されておられませんので、内容を検討し組織決定をしていただけるよう作業いたします。また、2010年には竣工100周年を迎える「国の登録有形文化財・記念館」の修理保存や鹿山文庫の整備協力及び普及等、課題解決に向け、会員皆様のご支援・ご協力のもとに、諸事業を展開してまいります。

2 . 実施要領

(1) 生徒の育英及び奨励

1. 新入生及び卒業生に対し、入学、卒業の記念品を贈呈する。
2. 関東大会(準ずるものを含む)以上の競技会等に参加する生徒に対し激励金を助成する。
3. 生徒のオランダ王国トラート・カレッジ校への研修を助成する。
4. 育英及び奨励の内容を再検討し、充実を図る。

(2) 会員の儀礼、顕彰

1. 転出及び退職する職員(幹事及び特別会員)に対し記念品(餞別金)を贈呈する。
2. 秋及び春の叙勲及び褒章受章者に記念品を贈呈する。

(3) 円滑な会運営

1. 年会費制度を定着させるため、全会員への通知を継続実施すると共に、運用面の再検討及び必要細則等を整備する。
2. 国の登録有形文化財である記念館の修理保存促進等について検討する。
3. 会則に則る常任委員の名簿整備を行う。また、必要に応じ正副会長会、幹事会及び地域職域・クラブOB・同期会責任者との連絡協議会を開催する。

4. 地域支部、職域支部及び同期会の総会等に会長（または代理者）が出席し、会の連携強化を図る。
5. 鹿山会ホームページを充実し、適時の記事を提供すると共に、会報「鹿山会」の発行及び必要な広報を行う。

鹿山会URL: <http://rokuzan.gozaru.jp/>

佐倉高校URL: <http://www.chiba-c.ed.jp/sakura-h/>

6. 鹿山会会員名簿の更新作業を行う。
7. 事業推進のため、必要に応じ寄付金の募集を実施する。

(4) 鹿山文庫の会の運営

1. 鹿山文庫の書籍の補修にあたり整備の優先順位を提供し学校に協力する。
2. 鹿山文庫に関する展示会及び講演会等を開催し、地域への普及に努める。
3. 今後の事業内容について、検討する。

第 4 号 議 案

平 成 20 年 度 鹿 山 会 収 支 予 算 (案)

別掲載資料をご参照ください

第5号議案

役員改選について

第6号議案

その他